

交通安全対策

交通安全対策

新潟県の交通事故発生状況は、発生件数、死者数、負傷者数ともに減少傾向にあるものの、歩行者の関与した事故件数が全事故件数に占める割合は増加傾向にあります。

新潟県では、安全な歩行空間を確保するとともに、防護柵、区画線、道路標識、道路情報提供装置などの道路安全施設を整備し、誰もが安心して快適に利用できる道路交通環境の整備を推進しています。

また、通学路における交通安全の確保については、平成24年の事故等を受けて実施した緊急合同点検や各市町村における推進体制（通学路交通安全プログラム）により、道路管理者、教育委員会、警察が連携し、継続的な取り組みを推進してきましたが、令和3年6月に千葉県八街市において見通しの良い直線道路の通学路で下校中の児童の列にトラックが衝突し5名が死傷する事故が発生したことから、合同点検を実施し、点検結果に基づき早期に交通安全を確保する取り組みを実施しています。

歩道の整備

未就学児や児童の安全確保を最優先に取り組むため、「交通安全施設等整備事業の推進に関する法律」に基づく通学路、県内全市町村で策定済みの「通学路交通安全プログラム」の二つの柱に基づいて、通学路を中心に歩行空間の整備を行っています。



一般国道291号（南魚沼市）



一般国道117号（十日町市）

道路情報の提供

安全で円滑な道路交通を確保するために、適切な道路情報をドライバーへ提供します。



主要地方道佐渡一周線（佐渡市）

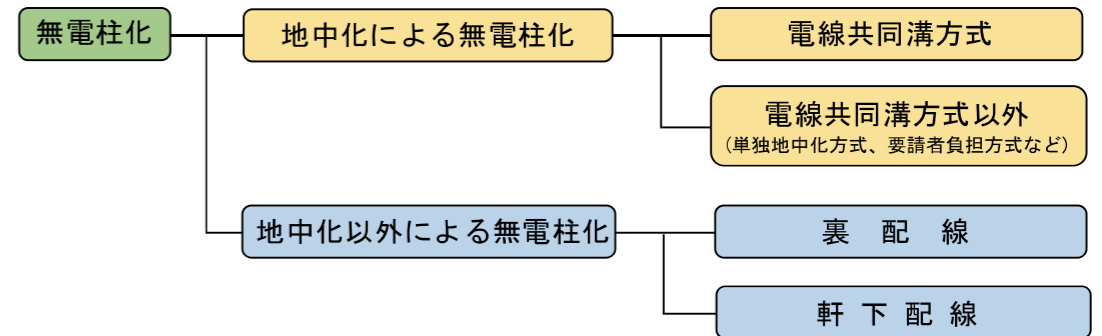
無電柱化

無電柱化の整備

新潟県では「防災」、「安全・円滑な交通確保」及び「景観形成・観光振興」の観点から、無電柱化を推進することを目的として、「新潟県無電柱化計画（令和3年4月）」を定めています。

なお、無電柱化に当たっては、工事や地上機器の設置場所等について、電線管理者や沿道住民等の合意形成が重要です。

無電柱化の整備手法



整備事例：都市計画道路『3・5・7 宮寄上加茂線（加茂市）』

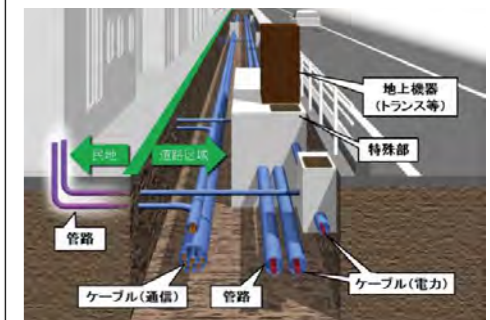
整備前



整備後



電線共同溝方式の整備イメージ



出典：国土交通省ホームページ

電線共同溝整備事業の流れ（一例）

